

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 6 日

奈良県知事 殿



提出者

住 所 奈良県桜井市桜井281番地7 中和HDビル

氏 名 株式会社 中和コンストラクション
代表取締役社長 大浦 晃平

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0744-42-9313

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 中和コンストラクション
事業場の所在地	奈良県桜井市桜井281番地7 中和HDビル
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	請負完成工事高 3,500,000万円
③ 従業員数	58人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(建設工事) ・がれき類：再生処理業者に委託し、再生砕石として再資源化 ・廃プラスチック類：再生処理業者に委託し、破碎し燃料として再資源化 ・紙くず：再生処理業者に委託し、圧縮し燃料として再資源化 ・木くず：再生処理業者に委託し、破碎し燃料として再資源化

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社ISO推進室



建築・土木部長（建設廃棄物統括責任者・パフォーマンス検証責任者）



現場作業責任者（建設廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	0.16 t	3.35 t
	（これまでに実施した取組） 1、梱包材の削減 2、実数発生 3、余剰材の引き取り 3、グリーン商品の使用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	0.15 t	3.02 t
	（今後実施する予定の取組） 1、工法の改善、検討 2、ユニット化持込による廃棄物の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物、金属くず、紙くず、廃プラスチック類、ガラスくず等 本社・各作業所において専用コンテナを設置し分別回収の実施
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き、分別回収の実施と再資源化の推進

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組）		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	（今後実施する予定の取組）		
	実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	0.16 t	3.35 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.16 t	3.35 t
	再生利用業者への処理委託量	t	3.35 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
	特になし		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	0.15 t	3.02 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.15 t	3.02 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	3.02 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社ISO推進室



建築・土木部長（建設廃棄物統括責任者・パフォーマンス検証責任者）



現場作業責任者（建設廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	82.09 t	36.80 t
	（これまでに実施した取組） 1、梱包材の削減 2、実数発生 3、余剰材の引き取り 3、グリーン商品の使用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	排出量	73.88 t	33.12 t
	（今後実施する予定の取組） 1、工法の改善、検討 2、ユニット化持込による廃棄物の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物、金属くず、紙くず、廃プラスチック類、ガラスくず等 本社・各作業所において専用コンテナを設置し分別回収の実施
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き、分別回収の実施と再資源化の推進

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
②計画	実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	全処理委託量	82.09 t	36.80 t
	優良認定処理業者への処理委託量	82.09 t	36.80 t
	再生利用業者への処理委託量	82.09 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
	全処理委託量	73.88 t	33.12 t
	優良認定処理業者への処理委託量	73.88 t	33.12 t
	再生利用業者への処理委託量	73.88 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社ISO推進室



建築・土木部長（建設廃棄物統括責任者・パフォーマンス検証責任者）



現場作業責任者（建設廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	排出量	3,748.38 t	126.59 t
	（これまでに実施した取組） 1、梱包材の削減 2、実数発生 3、余剰材の引き取り 3、グリーン商品の使用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	排出量	3,373.54 t	113.93 t
	（今後実施する予定の取組） 1、工法の改善、検討 2、ユニット化持込による廃棄物の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物、金属くず、紙くず、廃プラスチック類、ガラスくず等 本社・各作業所において専用コンテナを設置し分別回収の実施
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き、分別回収の実施と再資源化の推進

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組）		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	（今後実施する予定の取組）		
	実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設混合廃棄物
	全処理委託量	3,748.38 t	126.59 t
	優良認定処理業者への処理委託量	3,748.38 t	126.59 t
	再生利用業者への処理委託量	3,748.38 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
	特になし		

②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類	がれき類	建設混合廃棄物
	全 処 理 委 託 量	3,373.54 t	113.93 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	3,373.54 t	113.93 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,373.54 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社ISO推進室



建築・土木部長（建設廃棄物統括責任者・パフォーマンス検証責任者）



現場作業責任者（建設廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
	排出量	19.17 t	0.03 t
	（これまでに実施した取組） 1、梱包材の削減 2、実数発生 3、余剰材の引き取り 3、グリーン商品の使用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
	排出量	17.25 t	0.02 t
	（今後実施する予定の取組） 1、工法の改善、検討 2、ユニット化持込による廃棄物の削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物、金属くず、紙くず、廃プラスチック類、ガラスくず等 本社・各作業所において専用コンテナを設置し分別回収の実施
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き、分別回収の実施と再資源化の推進

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
②計画	実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
	全処理委託量	19.17 t	0.03 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	19.17 t	0.03 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品 産業廃棄物
	全処理委託量	17.25 t	0.02 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	17.25 t	0.02 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施予定なし		
※事務処理欄			